

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-4	安全で快適な生活環境を形成します
基本計画(施策)	3-4-2	・犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保

	課	係
主管課・係	住民生活課	消防交通係
関係課・係		

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町民の防災意識が高揚し、日常的に災害に備える体制ができる。 ②町民の交通安全・防犯に対する意識が高まり、社会的弱者への配慮もなされる。</p>																																																						
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①町民の生命・財産を災害から守る体制づくりを図ること。 ②交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない町を目指すこと。 ③関係機関との連携を図り、犯罪の抑制や消費者保護のための対策を推進し、安全安心な生活ができる町にすること。</p>																																																						
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 交通死亡事故件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>B 火災発生件数</td> <td>件</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C 各集落自主防災組織</td> <td>件</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>D なりすまし詐欺事件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 交通死亡事故件数	件	0	0	0	0	B 火災発生件数	件	6	0	5	0	C 各集落自主防災組織	件	54	60	54	72	D なりすまし詐欺事件数	件	0	0	0	0	<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>各期の啓発活動により、交通安全への意識が高まったため。</td> <td>② このまま達成可能</td> <td>引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>B ② 上回った</td> <td>消防団による火災予防啓発や、防災行政無線による注意喚起により昨年度よりは件数が減少した。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>引き続き関係機関との連携を常に図り、夜警などの火災予防活動に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>新たに取り組む地区がなかった。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>集落応援交付金事業と連携した、地区の防災力向上に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>D ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>防災行政無線等での注意喚起により町民の意識が高まったため。</td> <td>② このまま達成可能</td> <td>引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	各期の啓発活動により、交通安全への意識が高まったため。	② このまま達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。	B ② 上回った	消防団による火災予防啓発や、防災行政無線による注意喚起により昨年度よりは件数が減少した。	③ 取組改善で達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、夜警などの火災予防活動に取り組む。	C ④ 下回った	新たに取り組む地区がなかった。	③ 取組改善で達成可能	集落応援交付金事業と連携した、地区の防災力向上に取り組む。	D ③ ほぼ目標値どおり	防災行政無線等での注意喚起により町民の意識が高まったため。	② このまま達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																																																
	実績値	目標値		実績値	目標値																																																		
A 交通死亡事故件数	件	0	0	0	0																																																		
B 火災発生件数	件	6	0	5	0																																																		
C 各集落自主防災組織	件	54	60	54	72																																																		
D なりすまし詐欺事件数	件	0	0	0	0																																																		
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																				
A ③ ほぼ目標値どおり	各期の啓発活動により、交通安全への意識が高まったため。	② このまま達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。																																																				
B ② 上回った	消防団による火災予防啓発や、防災行政無線による注意喚起により昨年度よりは件数が減少した。	③ 取組改善で達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、夜警などの火災予防活動に取り組む。																																																				
C ④ 下回った	新たに取り組む地区がなかった。	③ 取組改善で達成可能	集落応援交付金事業と連携した、地区の防災力向上に取り組む。																																																				
D ③ ほぼ目標値どおり	防災行政無線等での注意喚起により町民の意識が高まったため。	② このまま達成可能	引き続き関係機関との連携を常に図り、交通安全啓発活動に取り組む。																																																				
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じ各地域において交通安全 Tent村や交通安全パレードなどの交通安全啓発活動を実施した。 ・消防団による夜警活動や、乾燥時期は防災行政無線による注意喚起放送を実施した。 ・振り込め詐欺等の注意喚起として、警察と連携し、防災行政無線による啓発活動を実施した。 																																																						
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか?</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は令和元年東日本台風が発生し、各地域において避難所開設や避難情報の発令等を行ったが、人的被害はなく、町民の防災意識の高揚は図られていると思われる。 ・交通事故ゼロが続いており、町民の交通安全への意識は高まっていると思われる。 																																																						

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか?</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の東日本台風では、町民の防災意識が高まったことにより、自主避難や各地区避難所への避難などが行われ、人的被害がゼロに収まった。 ・交通事故ゼロを平成30年度から引き続き継続することができた。 ・なりすまし詐欺についても、町内被害をゼロに抑えることができた。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か?</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体としての防災意識は高まってきていると感じられるが、各地区によってはまだまだ温度差があると思われる。 ・人口減少、少子高齢化などの要因による町消防団員数の減少と、それに伴う地域防災力の低下。 ・交通安全団体や防犯団体など、これまで地域に密着し活動してきた各団体の高齢化による活動規模の縮小等。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は?</p>	<p>・安全で快適な生活環境の形成は町民の豊かな暮らしにとって必要不可欠であり、防災や交通安全、防犯等の取組を地域の実情に合わせて今後も実施していく。</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか? また具体的な対応・対策をどうしますか?</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th>具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災や交通安全、防犯等の取り組みの基礎となる各地区の取組を推進させる。</td> <td>集落応援交付金事業等を活用し、各地区の活性化を図る。</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	防災や交通安全、防犯等の取り組みの基礎となる各地区の取組を推進させる。	集落応援交付金事業等を活用し、各地区の活性化を図る。						
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
防災や交通安全、防犯等の取り組みの基礎となる各地区の取組を推進させる。	集落応援交付金事業等を活用し、各地区の活性化を図る。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	消防施設等更新事業	住民生活課	目的	各支団において、消防屯所や消防ポンプ積載車格納庫を更新し、消防団員の拠点施設の確保と消防力の強化を図る。				
			概要	消防団各部の消防屯所等を計画的かつ効率的に更新する。				
			成果	令和元年度は更新せず。				
		消防交通係	問題	公共施設等総合管理計画との整合性も含めた施設の適正配置・更新と、それを可能とする財源の確保。				
			対策	消防団組織の再編を検討し、それに連動した効果的な消防施設の配置・更新を行う。				
			事業費	0	0	60,600	3,000	-
02	消防ポンプ車更新事業	住民生活課	目的	経年劣化により老朽化している消防車両を更新する。				
			概要	消防団各部の消防車両を計画的かつ効率的に更新する。				
			成果	令和元年度は消防ポンプ車1台の更新を行った。				
		消防交通係	問題	消防車両の適正な配置・更新と、継続して更新していくための財源の確保。				
			対策	消防団組織の再編を検討し、それに連動した効果的な消防車両の配置・更新を行う。				
			事業費	22,407	1,707	0	0	-
03	防火水槽整備工事	住民生活課	目的	消火活動に必要な水利の確保が困難な地区に対し、防火水槽の整備を進める。				
			概要	水利の確保が困難な地区に対し、計画的かつ効率的な整備を進める。				
			成果	令和元年度は防火水槽の整備は実施せず。				
		消防交通係	問題	地域の要望と現状に沿った効果的な整備と、それを可能にする財源の確保。				
			対策	現施設の維持管理に努めるとともに、地域の実情の把握し、必要な施設については計画的に整備を行う。				
			事業費	0	0	0	0	-
04	防犯灯設置費補助金	住民生活課	目的	夜間における犯罪の発生防止と通行者の安全を確保する。				
			概要	防犯灯を設置・更新する際の経費に対し、補助金を交付する。				
			成果	通行者の安全が確保され、町民の生活環境が改善された。またLED化の推進により各地区電気料の負担軽減にも寄与した。				
		消防交通係	問題	田島地域のLED化の推進。				
			対策	各地区の実情の把握しつつ、財源を確保し、計画的な設置・更新を推進する。				
			事業費	1,477	1,477	1,400	1,400	-
05	南会津町災害対策総合支援事業	住民生活課	目的	地域防災計画等各種マニュアルを定期的に見直し、地域防災力の充実に図る。				
			概要	職員初動マニュアル及び業務継続計画の作成、地域防災計画の見直し、ハザードマップの作成。				
			成果	館岩・伊南・南郷地域の防災ハザードマップを作成し、防災意識の高揚が図られた。				
		消防交通係	問題	各地区における地区防災計画の策定の推進と、「自助」「共助」の意識啓発。				
			対策	防災ハザードマップを活用した各地区における地区防災計画の策定の推進。				
			事業費	5,445	2,723	6,435	3,218	-
06	防災備蓄用品整備事業	住民生活課	目的	大規模な災害に備え、孤立する可能性のある指定避難所へ防災備蓄用品(保存食・飲料水)を整備する。				
			概要	避難所等に防災備蓄用品の整備を行う。				
			成果	防災備蓄用品(食料・水)を整備し、災害時に応急対応が可能となった。				
		消防交通係	問題	備蓄用品の種目の拡充と計画的な更新、それを収容する備蓄倉庫の確保。				
			対策	地域・地区の現状を把握し、計画的な整備・更新を図る。				
			事業費	401	401	425	425	-
07	防災訓練事業	住民生活課	目的	災害時に備え、地域住民がどのような行動をとるべきか検証する。				
			概要	4地域持ち回りで町防災訓練を実施する。				
			成果	令和元年度は館岩地域で開催し、地域における防災意識が高まった。				
		消防交通係	問題	地域の実情、災害特性に応じた、より実践的な訓練の実施。				
			対策	4地域持ち回りの現行方式を変更し、各地域において防災訓練を実施する。				
			事業費	0	0	0	0	-
08★	防災行政無線設備更新事業	住民生活課	目的	防災行政無線設備の更新を行い、防災力の向上を図る。				
			概要	多様な情報伝達を可能とするシステム導入、及び南郷地域の防災行政無線設備の更新を行う。				
			成果					
		消防交通係	問題					
			対策					
			事業費	-	-	167,695	95	-
09	町交通安全対策協議会補助金事業	住民生活課	目的	町内の交通の円滑化と交通事故の防止に関する総合的な対策を推進する。				
			概要	町の交通安全対策協議会へ補助金として、その運営を支援する。				
			成果	交通安全啓発が図られ、町内における交通死亡事故ゼロが平成30年度から継続している。				
		消防交通係	問題	交通安全の各種団体への効果的な支援や運営補助。				
			対策	団体運営の効率化、合理化の推進と各種団体への効果的な支援。				
			事業費	1,260	1,260	1,260	1,260	-
事業費(一般財源)の合計(千円)			30,990	7,568	237,815	9,398	-	-